



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和8年9月30日

第6号



ほんもの 本物に触れる

児童支援専任 梶田 浩司

ここ数年、熱中症指数とにらめっこをして校庭や体育館での活動ができないことが多かった9月ですが、今年は曇りや雨の日が多く、涼しく感じられる日もありました。夏休み明けは学校生活のリズムを取り戻すことに苦戦する様子も見られましたが、秋の気配が感じられるようになり、少しずつ学習や読書活動などにも前向きに取り組めるようになってきました。

朝比奈小学校は各学年、9月から12月にかけて校外学習や宿泊体験学習・修学旅行など、学校外での活動が多くなります。夏休み明け最初の校外学習は、5年生の「心の教育ふれあいコンサート」でした。このコンサートは主に横浜市の5年生を対象に開催され、設備の整った施設（みなとみらいホール）でプロのオーケストラによる演奏を鑑賞することにより、音楽の深さを知る機会としています。多くの子どもたちにとってクラシック音楽という馴染みのない分野でしたが、音楽の時間にトランペットやチューバなどの金管楽器に触れる体験をしたり、コマーシャルなどで流れている有名な曲を聴いたりすることでコンサートに向けて興味を高めていきました。みなとみらいホールで生演奏を聴いて感じた子どもたちの感想を紹介します。

今までは楽器についてよく知らなかったけど、今回は楽器について調べて聴いていたので、見方が変わったのしかったです♪

動画などで聴いてきた音楽が生演奏になると、音の響き方や大きさ、迫力が違った♪

それぞれ演奏している楽器が違うのに、心が一つになっているような感じがした♪

雷鳴と稲妻を大太鼓とシンバルで表現しているのがとても迫力があった♪



いろいろな楽器の音色が重なり合っておもしろかった♪

思わず体が動いたり、歌ってしまったりする曲でした♪

パイプオルガンの響きと音色がとてもきれいでした。同じメロディーの重なりが印象に残りました

弦楽器はなめらかで響きが良く、ピアノでは表現できない音色を出していて気持ちがよくなった♪

有名なメロディーを聴いて心がおちつきました♪

日々の学校生活では体験できない機会を大切に、子どもたちが「成長する自分」を実感できるよう、私たち教職員も支援してまいります。